

学校名 専門学校東萌ビューティーカレッジ  
課程名 職業実践専門課程 衛生専門課程  
学科名 美容科  
学校関係者評価委員会報告書

# 28年度 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会

専門学校東萌ビューティーカレッジ

# 目 次

基準 1	教育理念・目的・育成人材像等.....	1	基準 6	教育環境.....	8
基準 2	学校運営.....	2	基準 7	学生の募集と受け入れ.....	9
基準 3	教育活動.....	3	基準 8	財務.....	10
基準 4	教育成果.....	5	基準 9	法令等の遵守.....	11
基準 5	学生支援.....	6	基準 10	社会貢献.....	12

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	5	学則の理念に沿い、定めている。	学生心得を制定し実行している。		学則 学生心得
1-2 学校の特色はなにか	5	エステティック・メイクアップ <sup>®</sup> の資格が取得できる。 認定エステティシャン合格率 100% メイク検定 3 級合格率 59% メイク検定 2 級合格率 72% サービス接遇検定合格率 76% (28 年度実績)	日本エステティック協会及び日本メイクアップ <sup>®</sup> 連盟の認定校である。 メイクアップ <sup>®</sup> 検定試験日 H28.9.21 エステティシャンセンター試験日 H28.11.18	昨年度よりもメイク検定 3 級及び 2 級、サービス接遇検定の合格率が下がっている。授業内容の見直しと課外セミナー等導入を検討し、合格率のアップを図る。	
1-3 学校の将来構想を抱いているか	5	中・長期ビジョンについて理事会・評議員会で正式に決定している。		中・長期ビジョンの実現に向けての具体的な取組	学校法人小池学園のビジョンについて (2015 年 6 月 1 日付)

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

### 学校関係者評価委員会 評価結果

- ・メイクアップ<sup>®</sup> 検定及びサービス接遇検定試験等は学校の特色でもあるので、合格率の低下は学校の評価を下げることに繋がる。
- ・原因の把握と対策をしっかりと行い、検定合格率(資格取得率)アップに向けて取り組んでいただきたい。

## 基準 2 学校運営

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4 運営方針は定められているか	3	教育目標及び指導の重点を定めている。	学校要覧に明記している。	運営方針をさらに明確にし職員に徹底する。	学校要覧
2-5 事業計画は定められているか	3	年度事業計画及び行事計画を定め、法人の理事会・評議員会の承認を得ている。	年度事業計画及び年間行事計画の作成		事業計画書 行事計画書
2-6 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	3	諸規定の整備を心がけているが、未整備の規定もある。		各種諸規定を整備する。	規定集
2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	3	公平な人事・賃金設定を目指している。		人事処遇に関する規程の整備	就業規則
2-8 意思決定システムは確立されているか	4	意思決定には全て文書による決裁を要する。			伺書
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	各業務は全てパソコンで行ない業務の効率化を目指している。		各種ソフトの導入およびシステム化の推進によるさらなる業務の効率化。	

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

### 学校関係者評価委員会 評価結果

・学校運営に関しては、理事会・評議員会の承認を得た事業計画及び行事計画に基づいて適切に実施されている。

## 基準 3 教育活動

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4	美容業界等と密接に連携することにより、教育目標の設定および必要とされる人材像を把握し正しく方向づけられている。	職業実践専門課程認定および取組 インターンシップの導入 現役美容師（卒業生）による技術指導の実施		職業実践専門課程関連資料 インターンシップ実施要項
3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	4	教育の成果を図る基準として、美容師国家試験をはじめ各種資格・検定試験等の合格基準を目安に、到達目標として設定している。	国家試験合格を最低条件とし、国家試験合格へ向けてのステップである校内検定を実施している。 さらに、社会人として必要な接客技術や清掃等についての社会人検定を実施している。	校内検定の種類を増やし幅を広げた知識・技術の習得を課題とし、授業の展開を効率よくすることを検討中である。	校内検定実施要綱
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	4	美容業界の企業等と密接に連携を図り教育課程編成委員会において教育カリキュラムの編成を行っている。	教育課程編成委員会実施 第1回 H28.12.7（水）	H29.2.7（火）に実施予定だった第2回委員会が未実施である。規程に沿った委員会運営が必要である。	職業実践専門課程関連資料 教育課程表 教育課程編成委員会実施報告書
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	適正な位置付けがなされている。	学則の教育課程に基づいたカリキュラム編成をしている。		学則 シラバス

3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか	NA	実施していない。		授業評価を行い、教員間で評価しあうことで授業方法を共通認識できるが、評価の方法など慎重に検討していきたい。	
3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	授業を行う教員・講師は、科目に合った資格を有することとしている。また、実技科目は3年以上の美容実務経験者を確保している。	教員・講師には、資格証の写しを提出させている。		履歴書 資格証
3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5	成績評価・単位認定は定期試験・検定試験及び履修状況、出席状況等の基準を設けている。	定期試験・検定試験における合格基準点の設定および出席状況	未受験者、不合格者に対する再評価の実施および判定の方法を検討している。	学則 学生心得
3-17 資格取得の指導体制はあるか	4	資格取得に向けての指導体制は整っている。	資格取得に向けての授業展開	メイクアップ検定試験やサービス接客検定試験の合格率のアップに向けて指導内容の検討が必要	

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

- ・実践力のある美容師の育成というビジョン達成に向けて、今年度よりインターンシップを実施している点は大いに評価できる。
- ・現役美容師である卒業生が在校生に技術指導するという授業は、授業に変化が生まれ、先生とはまた違った教育的効果があり、今後の取組に期待したい。
- ・職業実践専門課程における教育課程編成委員会の第2回目が未実施なので、規定に沿った運営が必要である。

## 基準 4 教育成果

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	5	進路指導担当者を設置し、1年次から就職指導を行うことにより就職率の向上を図っている。	14年連続就職率100%である。(H15年度～28年度)	今後も早期の就職試験合格対策を検討していきたい。	就職実績一覧
4-19 資格取得率の向上が図られているか	4	メイクアップ検定試験、サービス接遇検定試験等の合格率が昨年度より下がっている。 メイク検定3級合格率 59% メイク検定2級合格率 72% サービス接遇検定合格率 76%	27年度実績 メイク検定3級合格率 63% メイク検定2級合格率 94% サービス接遇検定合格率 83%	授業内容の見直しと本人の基礎学力向上に向けた取組が必要。	
4-20 退学率の低減が図られているか	4	十分に対策を講じているが、本人の進路変更、経済的理由により退学者が出ている。	退学者が出ないように学校と家庭の連携を取り、学生に目標を持たせる指導を行っている。	SNS等で人間関係がトラブルになり退学につながるケースが見られるので、SNS等の取扱いに関する指導が必要である。	
4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	NA	把握するシステムを構築していない。		今後、検討する必要がある。	

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

### 学校関係者評価委員会 評価結果

- ・メイクアップ検定、ネイル検定等の資格取得率が低下していることについては、基準1の評価結果と同様である。原因の把握と対策をしっかりと行い、合格率アップに向けて取り組んでほしい。
- ・教職員間での情報共有を密にし、早い段階で学生の変化を察知し、退学率低減に向けて取り組めるようにしてほしい。

## 基準5 学生支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-22 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5	進路指導担当マネージャーを配置し学生の就職・進路指導に関する体制を整え機能している。	就職レクチャーや進路指導を常時行い、就職希望者の就職率も100%である。	就職後のフォローをどのようにするか体制を整えていくことを課題として検討していきたい。	
5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3	就職相談に関する体制は整備され、機能している。	進路指導担当マネージャーの配置	学生生活全般に関する相談体制は未整備である。特にメンタルケアについてはスクールカウンセラーの積極的な活用を検討したい。	
5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	4	日本学生支援機構の奨学金制度のほかに、民間の提携ローンも2社採用し、更に選択の幅が広がった	募集要項に記載している。HP上で当該情報とリンクしている。	日本学生支援機構の奨学金制度の採用枠が限られている。奨学金の返還についても啓蒙が必要である。	
5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	5	環境衛生の担当者を置き、生徒の健康管理を担う体制が取れている。	年に1回健康診断を実施している。	持病のある生徒の症状発症時の応急処置等の対策を検討する必要がある。 また、救急車要請等のマニュアル作成も必要である。	
5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	4	支援体制は整備され、機能している。	課外授業の実施 校外コンテスト出場	資格取得やコンテスト優勝など、より高い目標を目指す具体策を検討する必要がある。	
5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	3	学校独自の学生寮はないが、遠方からの入学希望者には近隣の不動産会社の案内をしている。	不動産会社と連携している。		不動産会社印刷物



5-28 保護者と適切に連携しているか	5	十分に連携している。しかし、電話の場合、昼間の時間帯に不在の家庭もあり、勤務時間内に連絡が取れないこともある。	成績表の送付や不登校時の早期連絡などを積極的に行なっている。	電話連絡の場合、なるべく勤務時間内で連絡が取れるよう、あらかじめ調整をする。勤務時間外の緊急連絡用に学校携帯を導入する。	
5-29 卒業生への支援体制はあるか	NA	支援体制は構築していない。			

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

#### 学校関係者評価委員会 評価結果

- ・今年度の就職も希望者全員が内定したことは、本校の就職指導体制が十分に機能しているので大いに評価できる。
- ・スクールカウンセラーの活用については、本校の姉妹校では活用事例が見られるが、本校では未整備となっている。今後の課題である。
- ・学校用携帯電話を導入したことは評価できる。また、課題と解決方向欄にあるように、基本はなるべく勤務時間内で対応できるよう調整することが肝心である。さらに電話での対応は、言った、言わないの話になりがちなので、十分留意する必要がある。

## 基準 6 教育環境

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	5	現状は整備されている。	指導要領に沿った施設・設備において授業を実施している。	施設・設備の耐用年数が過ぎているもの、または修理、買替え等が必要なものの把握とその改善の実施。	指導要領
6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	海外研修については整備している。 今年度よりインターンシップ <sup>o</sup> を実施している。	毎年海外研修を実施し、美容研修を行なっている。 インターンシップ <sup>o</sup> 期間（H28年度） H28年11月24日～26日	インターンシップ <sup>o</sup> 実施後に進路変更を考える生徒が見受けられた。インターンシップ <sup>o</sup> の目的を理解させる必要がある。	
6-32 防災に対する体制は整備されているか	5	年2回の防災点検及び年1回の避難訓練を実施している。	防災点検報告書 避難訓練実施要領	消防車、救急車等を要請する際のマニュアルが必要。	防災点検報告書 避難訓練実施要領

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

### 学校関係者評価委員会 評価結果

- ・実践力のある美容師の育成のビジョンのもと、本年度インターンシップを導入したことは大いに評価できる。実施のあと進路変更を考える学生が現れ、退学に至るケースもあったようだが、インターンシップの目的や到達目標など理解した上で臨むことが必要である。
- ・昨年度に続き、校舎北面の外壁工事の実施および屋上の防水工事等実施しており、環境整備に取り組んでいる点は評価できる。
- ・防災点検及び避難訓練を実施しており、防災については整備されている。

## 基準 7 学生の募集と受け入れ

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-33 学生募集活動は、適正に行われているか	5	公正な募集活動を行っている。	AO 入試や推薦入試の受付期日等は埼玉県専修学校各種学校協会の申し合わせに従い適切に対応している。		学校案内 募集要項
7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5	適切かつ公正な情報を伝えている。	合格率、就職率等の数字はそれに係る根拠を適切に示している。 コンテスト、競技大会等の結果についても同様である。		美容師国家試験実施結果（理容師美容師試験研修センター）等
7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5	入学選考にあたり、基本的人権の尊重と教育の機会均等に配慮している。	平成 28 年 5 月 24 日付学事第 260 号「公正な入学者選抜」に係る書類等の取扱いについて（通知）に基づいている。		平成 28 年 5 月 24 日付学事第 260 号
7-36 学納金は妥当なものとなっているか	5	妥当である。	教育活動上妥当である。		学則

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

学校関係者評価委員会 評価結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集については、埼玉県学事課通知や埼玉県専修学校各種学校協会の申合せ等遵守し、適切な募集活動を行っているので問題ないと思われる。</li> <li>・しかし 29 年度入学者が定員に達していないので、28 年度の募集活動について十分検証し、入学に繋がる広報活動に取り組んでほしい。</li> </ul>

## 基準 8 財務

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	18歳人口が減少に転じる2018年を控え、入学希望者の減少による財務面での不安定要素を抱えている。	2018年問題	中長期ビジョン実現に向けた具体的取組と魅力ある学校づくりによる2018年問題対策。	貸借対照表 事業活動収支決算書
8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	妥当である。	予算書、収支計画書を作成し理事会の承認をもらっている。 補正予算を作成して計画との誤差を少なくしている。		予算書 決算書
8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか	5	適正に行われている。	監査法人による監査を実施(年9回)。 監事による監査は年2回実施		監査報告書 理事会議事録
8-40 財務情報公開の体制整備はできているか	5	財務情報公開資料を備え付けている、とともにホームページ上で公開している。	情報公開資料を作成している。		財務情報公開資料

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

学校関係者評価委員会 評価結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年を来年に控え、いかに入学者を確保するか学校全体で取り組む必要がある。中・長期的に安定した財務基盤とするためには、魅力ある学校づくり、必要とされる学校づくりを行い、中・長期ビジョンの達成に向けた取組が喫緊の課題である。</li> <li>・財務情報については、事務所に備え付け、事業報告書等もホームページで公開しており問題ない。</li> <li>・年9回、監査法人による監査を行っており、問題なしと判断できる。</li> </ul>

## 基準 9 法令等の遵守

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-41 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	5	運営している。 2月にはコンプライアンス研修会を実施し、学園を挙げて法令順守に取り組んでいる。	設置基準等に基づいた内容である。 コンプライアンス研修の実施		美容師養成施設指定基準等 コンプライアンス研修資料
9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5	対策している。	個人データはセキュリティを施し、持ち出しはしないようにしている。	学校行事やオープンキャンパス等を撮影した写真をHP等へ掲載する際には、肖像権使用同意書を取り、本人の同意を確認した上で掲載している。	個人情報保護ガイドライン
9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	5	職業実践専門課程の学校関係者評価委員会を実施し、自己点検の検証を行っている。	職業実践専門課程の認定および取組		職業実践専門課程関連資料
9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか	4	自己点検・自己評価の結果に基づいて実施される学校関係者評価委員会の報告を公開している。	本校ホームページ上で公開している。		本校ホームページ

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

### 学校関係者評価委員会 評価結果

・法令順守は、企業存続の基本であり、学園全体で取り組むべき課題である。2月にコンプライアンス研修を実施し、全教職員の意識啓発に力を入れており、学園の法令順守への取り組みは大いに評価できる。

## 基準 10 社会貢献

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	4	美容関係の企業等との、密接に連携している。 学校行事等を通じて地域住民との交流を深めている。	職業実践専門課程の認定および取組 東萌感謝祭実施(毎年10月) 12月3日に実施された、「1日子ども商店街」に参加。		職業実践専門課程関連資料 東萌感謝祭実施要綱
10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	学年ごとに校外清掃活動を実施している。 彩の国ロードサポート団体に登録し清掃活動を実施。	彩の国ロードサポート団体に登録(清掃活動)	時期が不定期。 屋外活動のため天候により活動が左右される。	社会人検定規程

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

### 学校関係者評価委員会 評価結果

- ・昨年度彩の国ロードサポート団体に登録したことにより、地域を意識した活動となったようである。今年度も定期的に校外清掃活動を行っており、学校行事ではあるが、地域への貢献、地域との連携の意味合いが強くなった点は評価できる。
- ・昨年度に続き、「1日子ども商店街」に参加。こうした地域イベントへの参加は継続することで、認知度、知名度に繋がるので、ぜひ継続して頂きたい。